

# 沢野中央小学校通信



太田市立沢野中央小学校  
学校だより  
第12号 平成30年12月21日

## 冬休み 人との交わりで学びたい

冬休みは、親戚との会合や地域行事もあり、人と接することが多く社会性の第一歩で、あいさつの質を上げられる時期でもあります。お子さんのあいさつの質を高めるためにちょっと工夫してみませんか。

一般家庭では、少子化と祖父母との別居が多くなりました。屋根を同じくする家族内だと、あいさつは、なかなか行えません。簡略化され、ちょっとした仕草や発言があいさつ代わりになっています。家族内だとなかなかできないあいさつも、年末年始は、いろいろな人と接する機会も多いので、1年で一番有効な機会です。ぜひこれを活かして、意図的に子どもに声がけしてください。

質を高めるあいさつは、「おはようございます」「こんにちは」だけでなく、一言付け加えられるといいです。大人なら「こんにちは。先日は・・・でお世話になりました。」と言葉にするでしょう。子どもなら

「こんにちは。寒いね。」など、また親戚などが集まって子どもが先に食事をするときなど、「お先にいただきます。」「ごちそうさま おいしかったです。」などと一言付け加えられるといいです。自分が他者より先んじるときやお世話になったことなど、自分以外の第三者の存在を認識すると、質の高いあいさつになります。



ネット社会が進み、子ども部屋でゲーム等をするなど遊びもパーソナル化が進んでいます。こんな社会の中で、どれだけ人と人との交わりの大切さを伝えていくかが、成長の要です。冬休みは、人との交わりの多い時期です。ちょっとした声がけで、子ども達は学ぶことができます。チャレンジしてみてください。

## ネットに潜む危険

子どもがスマホを使う機会は毎年増えています。そこで、各家庭なりのきまりを決め、それに向けて家族で取り組んでいただきたいです。

右の図は、群馬県警察の冬の健全育成運動(12月15日～1月31日)のチラシの一部です。1年間に約1800

人も小中学生がネットによる被害を受けています。警察に連絡せずに、学校や家庭で解決したケースがあるので、実際はこの何倍にもなります。学校で「ネットモラル教育」を行っても被害は増える一方です。スマホでTwitterやLINEを始めるときは、多くの人が「私はだいじょうぶ」と信じていることと思います。でも、県警でこれだけの被害を扱っているのですから、SNSは安全ではないのです。LINEは、友だち内だけだから安心と思っていても、複数のグループを経由して、好ましくない友だちに

## 家庭の約束を決めて 例：夜9時過ぎたら使わない

伝わっての被害もあります。また、ID交換掲示板など危険が盛りだくさんです。

SNSは、子どもにとって仕組みの理解は難しいです。利用する場合は、時間を決めるなど家族で約束をやりましょう。

